

教師用「防災ノート」活用ガイド



はじめに、すること

①「防災ノート」のあるウェブサイトへ、アクセスできるようにしましょう。

防災ブック「東京防災」とは？ 「防災ノート」とは？

東京には、様々な災害リスクが存在しています。東京の多様な地理的特性、都市構造、最長のライフラインなどを考慮して作られた防災ブック。それが「東京防災」です。知識を得るだけでなく、今すぐできる具体的な「防災アクション」を学ぶことができます。

「防災ノート」とは？ 災害に対して、自分や他人の命を守るために、「防災アクション」を起こすための学習ノートです。ページは3種類あります。

- 知る 防災に必要な知識を確認する。新たに知る。
- 考える 災害時の行動や日頃の備えを考える。
- 調べたい、活かせる 学習したことをさらに、調べ、活かせる。

防災アクションとは あなたが、災害に備えて、目標からとるべき行動や、災害が起こったとき、その場でもとるべき行動のことです。

②「防災ノート」の操作方法や、どのような内容があるか確認させましょう。

「防災ノート」を活用した防災の授業を行いたい！

▶ 1 「防災ノート」を活用した授業事例へ

1 「防災ノート」を活用した授業事例

【目的】「避難所運営シミュレーション」を通して、避難所での生活について考える。

学習活動 「防災ノート」の活用
「避難所での生活について考えよう。」

導入 授業開始から、「避難所での生活について考えよう。」

展開 「避難所運営シミュレーション」を体験し、避難所での生活について考える。生徒が「防災ノート」で学んだ知識を活用し、避難所での生活をシミュレーションする。

まとめ 学習をまとめる。「学んだこと、感想をまとめよう。」

避難訓練などの事前・事後の指導で使いたい！

▶ 2 実践的・体験的な防災学習の事前・事後での事例へ

2 実践的・体験的な防災学習の事前・事後学習での事例

【目的】心臓蘇生やAEDの使用方法について理解する。

事前指導 「防災ノート」の活用
「心臓蘇生やAEDの使用方法について理解しよう。」

学習活動 「心臓蘇生やAEDの使用方法について理解しよう。」

導入 学習開始から、「心臓蘇生やAEDの使用方法について理解しよう。」

展開 「心臓蘇生やAEDの使用方法について理解しよう。」

まとめ 学習をまとめる。「AEDの使用方法で実践があれば、感想を書いてください。」

家庭などで、防災学習を生徒に取り組ませたい！

▶ 3 家庭と連携した防災学習で活用する事例へ

3 家庭と連携した防災学習で活用する事例

【目的】災害に備えて、自宅の安全対策について考える。

学習活動 「防災ノート」の活用
「災害に備えて、自宅の安全対策について考えよう。」

導入 学習開始から、「災害に備えて、自宅の安全対策について考えよう。」

展開 「自宅の安全対策を考えよう。」

まとめ 学習をまとめる。「調べたことを基に、家族と自宅の安全対策について話し合ってみよう。」



各教科等における防災学習に関わる内容での活用も考えられます。

学習指導要領における「防災を含む安全に関する教育」を採択した資料（東京都教育委員会ホームページ）



1 「防災ノート」を活用した授業事例



【目標】 「避難所運営シミュレーション」を通して、避難所での生活について考える。

学習活動

「防災ノート」の活用

導入

目標を知る。

「避難所での生活について考えましょう。」

P.33~45【避難所運営シミュレーション】

学習者用端末で資料を読ませ、学習活動を理解させます。

「①避難所生活を想像してみましょう。」から、番号順に学習に取り組む。

展開

〔学習の流れ〕
自分で考える。
↓
協働的に考える。
↓
発表する。

避難所運営シミュレーション ①避難所生活を想像してみましょう。

避難所の生活について
避難所は、自然災害が起きたときに、被災者が避難できる場所です。避難所には、食料、水、トイレ、風呂、電気などの設備があります。避難所では、被災者同士が助け合い、生活します。

高学年版	初等・低学年版
避難所生活の経験、避難所の役割について学習	避難所生活の経験、避難所の役割について学習
避難所生活の経験、避難所の役割について学習	避難所生活の経験、避難所の役割について学習

避難所生活の経験、避難所の役割について学習

避難所運営シミュレーション ②4コマ目のセリフを考えてみましょう。

ワークシートに考えを書きこみましょう。

ワークシートに考えを書きこみましょう。

避難所運営シミュレーション ③今までにあった事例カードを読みましょう。

事例カードを読み、避難所での生活について考えましょう。

避難所運営シミュレーション ④グループで事例カードを読んで、先ほど書いたセリフを改善してみましょう。

ワークシートに書いてまとめてみましょう。

協働的な学習
避難所シミュレーションは、協働的な学習ができるように内容が構成されています。生徒の学習者用端末を活用することによって、web会議システムで意見交流を行うことや、チャット機能で互いに考えを書き込むなどの工夫をすることが考えられます。

まとめ

学習をまとめる。

「学んだこと、感想をまとめましょう。」

2 実践的・体験的な防災学習の事前・事後学習での事例

【目標】心肺蘇生やAEDの使用方法について理解する。

事前指導

避難所設営・運営訓練

学習活動

「防災ノート」の活用

導入 学習課題を知る。

「避難所設営・運営訓練で実施できなかったAEDの使用方法について確認しましょう。」

展開

心肺蘇生や、
AEDの
使用方法について
確認する。

心肺蘇生とAED

心肺蘇生

約1秒かけて、胸の上がが見える程度の重さ、2回吹き込みます。
人工呼吸2回

人工呼吸の方法を訓練していない場合
人工呼吸用マスクやスピース等がない場合
血液や嘔吐物などにより、感染危険がある場合
新型コロナウイルス感染症流行等で倒れているのが、大人の場合
人工呼吸を行わず、胸骨圧迫を続けます。

普段どおりの呼吸がない、又は判断に迷う場合はすぐに、胸骨圧迫を30回行います。
訓練を積み技術と意思がある場合は、胸骨圧迫の後、人工呼吸を2回行います。
胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返して行います。

AED

まず、電源を入れる。
AEDが到着したら、電源を入れます。

電極パッドを貼る位置は電極パッドに書かれた絵のとおり、皮膚にしっかりと貼ります。体が濡らなごうに乾かしてください。
※おおよそ6歳くらいまでは、小児用電極パッドを貼ります。小児用電極パッドがない場合は、成人用の電極パッドを代用します。

電極パッドを胸に貼ります。

心電図解析中は傷病者に触れてはいけません。
心電図解析中は傷病者に触れてはいけません。
心電図解析中は傷病者に触れてはいけません。
心電図解析中は傷病者に触れてはいけません。

電撃ショックが必要かどうかは、AEDが判断します。点滅しているショックボタンを押します。
(音声メッセージが流れれば自動的に電撃ショックが実施されるショックボタンのない機種もあります。)

29

P.29【心肺蘇生とAED】

「動画をみる」等を視聴して、心肺蘇生やAEDの使用方法について理解させます。

校内のどこにAEDがあるか、確認します。また、普段よく行く場所でもAEDの場所を確認しておくように伝えます。



動画をみる
心肺蘇生とAED
(日本赤十字社)
17分1秒



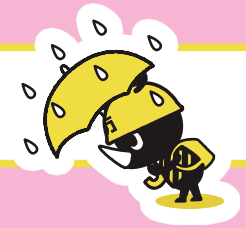
もっと詳しく
心肺蘇生の手順
(東京消防庁)

事後指導(10分)

まとめ 学習をまとめる。

「AEDの使用方法で質問があれば、感想に書いてください。」

3 家庭と連携した防災学習で活用する事例



【目標】 災害に備えて、自宅の安全対策について考える。

学習活動		「防災ノート」の活用								
導入	学習課題を知る。	「災害に備えて、自宅の安全対策について考えましょう。」								
展開	自宅の安全対策を考える。	<div data-bbox="622 488 1653 1072" data-label="Complex-Block"> <p>自宅の安全対策を考えよう</p> <p>出火・延焼を防ぐ対策 大震災時の出火原因は、主に電気の漏電や電気が復旧した際の通電火災、ガス漏れ火災、石油ストーブによるものです。次の出火防止チェックシートを活用するとともに、自宅の住宅用消火器や住宅用火災警報器などを確認し、出火・延焼を防ぐ対策を強化しましょう。</p> <p>出火防止チェックシート</p> <table border="1"> <tr> <td>電気</td> <td> <input type="checkbox"/> 電気コードは、カーペットや家具の下敷きになっていない。 <input type="checkbox"/> 不必要な電気機器のプラグは抜いている。 <input type="checkbox"/> 分電盤の位置を把握している。 <input type="checkbox"/> プロパンガスのボンベは転倒しないように、チェーンなどで固定してある。 <input type="checkbox"/> 都市ガス・プロパンガスの場合、マイコンメーターが有効期限内である。 <input type="checkbox"/> コンロ周りは数値整備され、ガスホースも劣化していない。 </td> </tr> <tr> <td>ガス</td> <td> <input type="checkbox"/> コンロ周りは数値整備され、ガスホースも劣化していない。 </td> </tr> <tr> <td>石油ストーブ</td> <td> <input type="checkbox"/> 石油ストーブの周りに燃えやすいものを置いていない。 <input type="checkbox"/> 石油ストーブの転倒防止を行っている。 </td> </tr> </table> <p>転倒チェックリスト</p> <p>●リビング・キッチンチェック項目</p> <table border="1"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 下り下り式照明器具 チェーンで揺れ防止対策を行う。 <input type="checkbox"/> テレビ テレビ台に着脱式移動防止ベルトなどで固定。台はL型金具で壁に固定し、脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。 <input type="checkbox"/> 電子レンジ 粘着マットやストラップ式の器具で台に固定し、台もL型金具で壁に固定する。 <input type="checkbox"/> テーブル・イス 脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。 </td> <td> <input type="checkbox"/> 食器棚 転倒しても避難経路をふさがない置き方をし、壁に固定する。ガラスには飛散防止フィルムを貼る。 <input type="checkbox"/> 引き出し 飛び出し防止のためにラッチ錠や付きを付ける。 <input type="checkbox"/> 折り戸棚 飾物が飛び出さないよう、脚に開放防止縛具を付ける。 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 避難の障害にならない場所に設置し、ベルト式器具などで壁と結び、落下しやすい物を上に載せない。 </td> </tr> </table> <p>●漏電遮断器 風に漏電遮断器が設置されているかどうか確認し、まだの場合は設置すると安心です。</p> <p>●感震ブレイカー 漏電遮断器や消火器の備え付けなどあわせて行うことが、電気火災の発生抑制効果を高めるとされています。</p> <p>ワークシートに考えを書きましょう</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自宅で出火・延焼を防ぐ対策について確認しましょう。 2 自宅で家具等の転倒・落下・移動防止対策について確認しましょう。 3 あなたの自宅で、今後、どのような対策が必要か、考えましょう。 </div>	電気	<input type="checkbox"/> 電気コードは、カーペットや家具の下敷きになっていない。 <input type="checkbox"/> 不必要な電気機器のプラグは抜いている。 <input type="checkbox"/> 分電盤の位置を把握している。 <input type="checkbox"/> プロパンガスのボンベは転倒しないように、チェーンなどで固定してある。 <input type="checkbox"/> 都市ガス・プロパンガスの場合、マイコンメーターが有効期限内である。 <input type="checkbox"/> コンロ周りは数値整備され、ガスホースも劣化していない。	ガス	<input type="checkbox"/> コンロ周りは数値整備され、ガスホースも劣化していない。	石油ストーブ	<input type="checkbox"/> 石油ストーブの周りに燃えやすいものを置いていない。 <input type="checkbox"/> 石油ストーブの転倒防止を行っている。	<input type="checkbox"/> 下り下り式照明器具 チェーンで揺れ防止対策を行う。 <input type="checkbox"/> テレビ テレビ台に着脱式移動防止ベルトなどで固定。台はL型金具で壁に固定し、脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。 <input type="checkbox"/> 電子レンジ 粘着マットやストラップ式の器具で台に固定し、台もL型金具で壁に固定する。 <input type="checkbox"/> テーブル・イス 脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。	<input type="checkbox"/> 食器棚 転倒しても避難経路をふさがない置き方をし、壁に固定する。ガラスには飛散防止フィルムを貼る。 <input type="checkbox"/> 引き出し 飛び出し防止のためにラッチ錠や付きを付ける。 <input type="checkbox"/> 折り戸棚 飾物が飛び出さないよう、脚に開放防止縛具を付ける。 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 避難の障害にならない場所に設置し、ベルト式器具などで壁と結び、落下しやすい物を上に載せない。
電気	<input type="checkbox"/> 電気コードは、カーペットや家具の下敷きになっていない。 <input type="checkbox"/> 不必要な電気機器のプラグは抜いている。 <input type="checkbox"/> 分電盤の位置を把握している。 <input type="checkbox"/> プロパンガスのボンベは転倒しないように、チェーンなどで固定してある。 <input type="checkbox"/> 都市ガス・プロパンガスの場合、マイコンメーターが有効期限内である。 <input type="checkbox"/> コンロ周りは数値整備され、ガスホースも劣化していない。									
ガス	<input type="checkbox"/> コンロ周りは数値整備され、ガスホースも劣化していない。									
石油ストーブ	<input type="checkbox"/> 石油ストーブの周りに燃えやすいものを置いていない。 <input type="checkbox"/> 石油ストーブの転倒防止を行っている。									
<input type="checkbox"/> 下り下り式照明器具 チェーンで揺れ防止対策を行う。 <input type="checkbox"/> テレビ テレビ台に着脱式移動防止ベルトなどで固定。台はL型金具で壁に固定し、脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。 <input type="checkbox"/> 電子レンジ 粘着マットやストラップ式の器具で台に固定し、台もL型金具で壁に固定する。 <input type="checkbox"/> テーブル・イス 脚に粘着マットなどの滑り止めを付ける。	<input type="checkbox"/> 食器棚 転倒しても避難経路をふさがない置き方をし、壁に固定する。ガラスには飛散防止フィルムを貼る。 <input type="checkbox"/> 引き出し 飛び出し防止のためにラッチ錠や付きを付ける。 <input type="checkbox"/> 折り戸棚 飾物が飛び出さないよう、脚に開放防止縛具を付ける。 <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 避難の障害にならない場所に設置し、ベルト式器具などで壁と結び、落下しやすい物を上に載せない。									
まとめ	学習をまとめる。	「調べて考えたことを基に、家族と自宅の安全対策について話し合ってみましょう。」								

学級での指導(10分)

生徒が「自宅の安全対策点検」に取り組むことを保護者に伝え、協力を頼むとよい。